

インフォマージュに特殊資料の
デジタル化サービスが新登場!

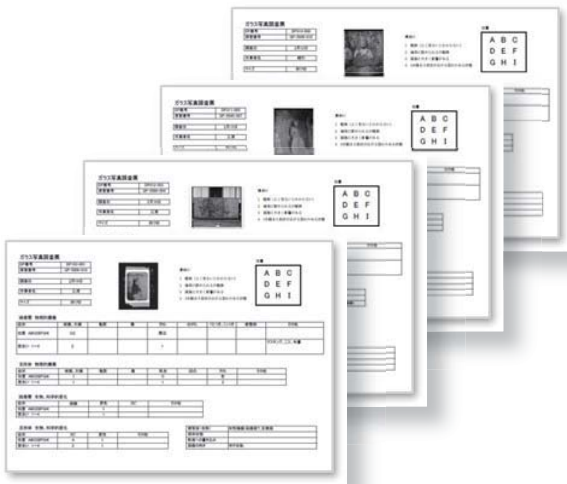
ガラス乾板電子化サービス

ガラス乾板は作成されてから長い年月を経ており、撮影されたものは現在失われた史料、風景なども多く貴重な史料です。

また、物理的に脆弱でデリケートな媒体であり、経年劣化、損傷が多く見られます。そのため状態を調査するコンディションチェックを行い、ネガ状の画像を電子化してポジ状に反転し、写真画像として閲覧可能にします。原板の長期保存のための保存容器、格納まで多様な環境、特有の課題等状況に応じて最適なお提案をさせていただきます。

調査結果票

1枚毎に画像サムネイルを表示し、画像層、支持体に分け調査。物理的、生物的損傷、化学的変化の存在位置、その程度を記載し票にします。



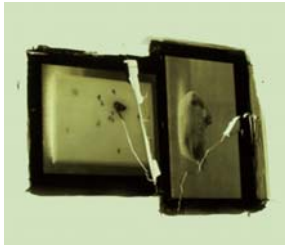
電子化画像

デジタルカメラ等を用い原板に忠実に電子化。

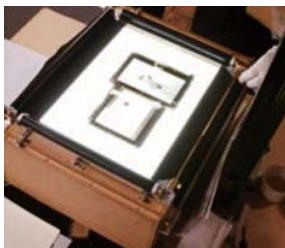


ガラス乾板電子化フロー

コンディション チェック



損傷したガラス



調査作業

画像層、支持体の物理的、生物的損傷と、化学的变化の存在位置、その程度を調査します。

万が一の落下アクシデントに備え低い作業機を用い、机周りには緩衝マットを敷きます。机にはフェルトを敷き、さらに中性紙を敷いて作業を行います。手袋、マスクを着用し、両手での取扱い、反射光、透過光両方の条件で調査を行います。

電子化



俯瞰撮影



斜め俯瞰撮影

8000万画素のデジタルカメラを用いて電子化を行います。

ガラスは透過光を利用して電子化を行うため、フラットな形状の光源に近づける必要があります。直接触れることで圧着が強い場合外れなくなったり、こすれてガラスを傷める可能性があります。そのため直接触れないようマスキングし電子化を行います。

保存容器 格納、保存



採寸



縦置き容器
横置き容器等を用いて格納

原板を良好な環境で保存するため、タウにつつみ堅牢な中性紙箱に格納します。

比較的良好な状態のものは縦置きの容器格納を行います。割れ、画像層剥離等が見られるものに対しては平置きの容器格納を行います。環境、状況に応じ容器作成を行います。



株式会社 **インフォマージュ**

お問い合わせは弊社ホームページのお問い合わせページ、もしくは直接、お電話を頂きますようお願いいたします。

〒104-0054 東京都中央区勝どき2丁目18番1号
TEL:03-5546-0601 FAX:03-5546-0610
<http://www.infomage.jp>